

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [追手門学院大手前中・高等学校] 担当教諭名 [前田 生] (英語部中2-高2 7名)

相手国・地域 [インドネシア]

海外学校名 [SMA Bukit Asam] 担当教諭名 [Seprianti Sungkowo]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	クラブ活動	Art Mile Project	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	文化「Culture」
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	日本とインドネシアの文化を紹介。地域の代表的な文化財や食、衣服、自然を壁画に記入した。コンセプトに関してはスカイプで話し合い、相手高の絵の上手な生徒の原案が示された。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
普段子ども達が考えることがない、東南アジアの国の生徒のことを考えるきっかけとなった。クラブでの活動なので、少人数で行えた。よって全員が役割を分担して活動に参加できた。	各学年に部員が散らばっており、授業の終了時間が合わず、全員を揃えるのが難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
国際交流の意義や重要性について、身をもって体験することができた。スカイプにて実際に現地の生徒と英語でやりとりすることで、海外と繋がっている感じや、グローバルな視野が少しずつ身についたと感じるようになった。	このような取り組みに関しては、どこまでを教師が準備をしてどこまでを子ども達主導でやらせるかの兼ね合いが難しく、主体的に生徒に何かを取り組ませる活動全般において、必要なファシリテーション能力を感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・スカイプによる自己紹介 ・フォーラムで自己紹介	実際に画面の向こうに、外国の生徒がいて英語を話しているという現実には生徒は興奮していた。	放課後
共有 テーマ学習	11月	フォーラムにて、原案を共有。文化を共有することで最終的に決定したが、お互いの災害なども壁画に入れるかも提案された。	相手の生徒の画力の高さに驚いていた。こちらに絵が得意な生徒がいなかったため、少し積極性に欠けた。	放課後
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	スカイプにて、お互いの文化に関して紹介し合った。その後壁画の内容に関して話し合い。壁画に盛り込む文化に関する具体的な内容を決定	伝えることは練習したが、相手の行っていることがほぼ理解できず、教師が誘導する形が多かった。	放課後
創造 壁画制作	12月	話し合った内容をもとに、壁画の日本側を制作。	大きな布に書く経験が今までなく、なかなか順調に進まなかったが、無事年内に完成した。	放課後
評価 振り返り 自己評価	3月	鑑賞、振り返り 生徒には、SNSにて画像を送った(春休みのため)。	相手校の画力の高さに驚いていた。1つの作品として完成して生徒は非常に喜んでいて。	放課後

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてつもない 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	地域の紹介をする場面。海外の生徒にわかりやすく伝えようと努力していたから。
異文化を理解する力	4	スカイプにて文化紹介をした場面。質問をするなど興味があるように見られた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	パワーポイントをつかって、上手にプレゼンを作成していた場面。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	英語はつたないが、伝えようと頑張っていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	英語の理解が進まず、そこまでは思考できていない。
主体的に考え行動する力	3	教師主導になるシーンが多かった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	壁画の制作は自分たちで予定をきめて行っていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	絵が上手ではなく、相手国の生徒の原案に乗った形となった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	終わってから、もっとこうすれば良かったという思いをもってくれたのがよかった。